

# グリーンハーバー

NPO法人 みどりの市民 ニュースレター

No. 60号  
2023. 4

発行: NPO法人  
みどりの市民  
〒380-8553 長野市若  
里 4-17-1 信州大学  
工学部 UFO ながの  
高木研究室内  
発行人: 高木直樹

## 戦争と環境

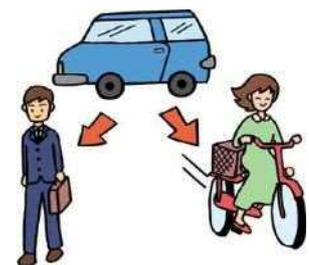
代表理事 高木直樹

ロシアによるウクライナ侵攻から1年以上たちました。この間に目や耳にするニュースは悲惨そのものです。なんの大義もない戦争をしていることは明らかですが、そのことにロシアの国民は気が付いていないのか、気が付いても逆らうことで身の上に降りかかることの恐ろしさが身に染みているのでしょうか。歴史を振り返れば、近代国家になっても権力者は政治的・経済的に問題を抱えると、内憂が自分に向かわないように国民の目を外国に向けることで政権の維持をしてきました。その結果が日本では日清戦争、日露戦争、中国侵攻、太平洋戦争と続きます。今はロシアを非難する私たち日本人もヨーロッパの列強もひどいことをしてきました。

環境問題は基本的には有限の星である地球の恵みと限界を認識し、これを国際的にも、国内的にも、将来も含む世代的にも、公平に享受できることを目指すものだと考えています。その考え方に異論をはさむ人は少ないのではないのでしょうか。しかし、現実には目先（せいぜい5年間）の利益を追求して、少しでもその利益をわがものにするために、戦争を起こし、後先を考えない地球の恵みの略奪を試みる行為が普通に行われています。



暗いニュースを見ながら書き始めたら、なんだか暗い文章になっています。少しは前向きに考えます。こんな社会の中で自分は何ができるだろうか？まずは健康的に明るく前向きに生活をしましょう。そのなかで環境にやさしい生活をころざしましょう。最終的な目標は人により違い、ほとんど仙人のような生活が目標という人もいられるでしょうが、私は現実的に考えます。エネルギーの自前の調達はそれほど難しくはないと考えています。断熱性・気密性のある住宅に住んで、適当なサイズの太陽光発電パネルを設置し、今後安くなる蓄電池を組み合わせれば、自前の調達は達成できるはずで、今後問題が顕在化すると思われる水と食料の調達は、少しずつ家庭菜園を広げ、その水やりは雨水で賄うことは今年から始めます。堆肥も自作することができますね。5年後に私が車の運転をやめて、10年後には車のない生活にする。これが実現しようとしている我が家の地球にやさしい生活です。



こんなことでもゼロカーボンどころか、カーボンマイナスにはなるはずで、実現できるように少しずつ環境にやさしい生活のレベルアップを目指します。

## 高校生・大学生と一緒に調べた地場産業への気候変動影響

理事 浜田 崇

気候変動に関心のある若者たちが増えています。

しかし気候変動の影響が顕在化した時代に生まれ育ち、豪雨や極端な暑さが日常的となっている彼らにとっては、数十年という期間で徐々に現れてきた気候変動の影響は実感しにくいのではないのでしょうか。

気候変動問題に対して自らアクションを起こすためには、この問題を自分事として捉えられるかどうか、このままでは自分の、地域の、地球の未来に大きな影響が及ぶことを想像できるかがカギをにぎっています。

こうした問題意識から、信州気候変動適応センター（浜田はそのスタッフです）では、環境省の受託事業の一環として、身近な地域の産業（地場産業）に気候変動の影響がどのように生じているのか、学生が自ら調べるという事業を行いました。地場産業の関係者へのインタビューを通して、気候変動の影響を自分ごととして実感し、さらには、未来への影響を想像できるようになればとの願いをこめて行いました。

高校は5校から13グループ、大学は2校3学部から6つのグループが参加してくれました。調査した地場産業は、地域の農作物（リンゴやプルーン）、味噌、日本酒、ワイン、養蜂、観光、上田紬、わさび、タケ、伝統野菜など、とてもバラエティに富ん

でいます。信州にはその多様な風土をうまく活かした地場産業がとても多いということを改めて実感しました。また調査結果からは、地域の気候に依存した地場産業に気候変動の影響が少しずつおよんできているということを知りました。たとえば、高温の影響で味噌の熟成が進んでしまうことや、暖冬によって寒天が凍りにくくなっていること、少雪によってスキー場オープンが遅くなり地域の観光業に影響が出ていることなどです。一方で、これまで栽培できなかったワイン用ぶどうが育つようになるという影響もありました。

調査した学生からは、「インタビューが難しかったが、気候変動の影響を実感した」「身近なところに影響があることがわかった」などの声をきくことができ、学生が気候変動を自分ごととして感じるきっかけを提供できたのではないかと思います。それと同時に、私たちだけでは、これだけ多くの気候変動影響について短期間で調べるのは難しいため、この調査結果は非常に貴重なものとなりました。

今後もこうした活動を続けたいと思い、今回の取り組みを環境学習プログラムとして冊子にまとめました。ご興味ある方にはお渡ししたいと思います。このような活動を地域のNPOなどと一緒に進めることができたら、さらに良いプログラムに発展するのではないかと思います。みなさまからもぜひご意見をちょうだいできればうれしいです。



## 上映会支援 実を結ぶ～子どもたち含め 85 人参加～



### 『マイクロプラスチック・ストーリー～ぼくらが作る 2050 年～』

早川美容商事の寄付金を活用した活動『マイクロプラスチック・ストーリー～ぼくらが作る 2050 年～』の上映会支援は、春休みを利用して中野市と長野市の 2 か所開催され実現しました。



中野会場ものがたりふど舎 (3/21)

★上映団体は「マイクロプラスチックストーリー上映実行委員会」。長野県 N P O センターと 信州環境カレッジが共催した「子育て世代向けの SDGs 講座」を受講した子育て中の 4 人のお母さん達です。「映画をきっかけに SDGs や環境問題に関心を持って自分ごとにしてほしい」という思いで立ち上げました。

★中野会場は古民家の「ものがたり ふど舎」(中野市小館)、**長野会場**は西光寺(長野市南高田)。映画は約 90 分、子どもたちにとっては長い映画でしたが、参加者はニューヨークの小学生たちの取り組みに目を輝かせていました



長野会場 西光寺 (3/28)

★鑑賞後の子どもたちからのメッセージ「感想の木」には「できるだけ プラスチックを減らすよう、なるべく 使わない、買わない、ゴミを出さない、リサイクルする」「小学生の取り組みが人々を動かしたことを知った」「自分の考えと行動を変えよう」など感動や素直なメッセージがありました。



「感想の木」を書く子ども達

★上映後には、環境や健康に配慮したパン、クッキー、雑貨などのマルシェや「割り箸トングづくり」などのワーク。又、西光寺では楽しく学べる「環境カルタ」などが行われ、知って、考えて、行動に繋がる体験をしました。

マルシェやワークショップ



【資料:SDGs connect 信州NEWS 2023 3/21.28 号より】

《引き続き上映団体募集》 <https://www.microplasticstory.org/> (映画HP)

～感動を子どもたちに伝え、行動へ変えてみませんか？ 上映希望団体はみどりの市民事務局まで～

映画紹介:『マイクロプラスチック・ストーリー～ぼくらが作る 2050 年～』はプラスチック問題の解決に向けてアクションを起こしたニューヨークのブルックリン小学 5 年生の 2 年間のドキュメンタリー映画です。身近に落ちているゴミの調査と研究者への聞き取りなどから海洋プラスチック汚染の実態を知り、問題の根幹が何かを問いながら、市議会での提言などに取り組む小学生たちのパワーと行動力に感動させられます。

## 《情報》企業のエシカル通信簿 2022 年度版結果報告

みどりの市民が参加している S S R C (消費から持続可能な社会をつくる市民ネットワーク: 全国の 38 団体参加) は産業界に対してもエシカルな取り組みを求めるために、企業のエシカル通信簿を実施しています。このプロジェクトは、環境・人権・アニマルウェルフェアなど 7 つの大項目(「サステナビリティ体制」「消費者の保護・支援」「人権・労働」「社会・社会貢献」「平和・非暴力」「アニマルウェルフェア」「環境」)についての調査票を作成し、公開情報をもとに採点して企業のエシカル度を調査・レイティング(格付け、評定)しています。

2022 年度は加工食品メーカー大手 10 社(明治ホールディングス、日本ハム、味の素株式会社、山崎製パン、マルハニチロ、伊藤ハム米久ホールディングス、日清製粉グループ本社、ニッスイ、雪印メグミルク、森永乳業)について調査し、その結果が発表されました。関心のある方下記HPをご覧ください。

<https://cnrc.jp/>

# みどり農園へ行こう！

《目指すこと》 種まきから収穫まで、連絡を取りあって 大勢で楽しく作業しましょう！！

- ・有機栽培（有機たい肥、無農薬）で、子ども達が土に触れて安心できる畑作り
- ・循環型社会づくりの実践農場(体験の農場)  
(生ごみ減量・堆肥化を目指し生ごみの受け入れ用コンポスト設置)
- ・遊休農地を活用し、会員相互のふれあいの場作り



《今年の目標》 参加者の体力と技量にあった野菜等の栽培を主体(個人耕作)とし、共用部ではさつま芋、ジャガイモ、大根等を作ります。

☆ 2023 年度の作付け計画等 ☆【(管理主体は山口、橋本)】

- ・共用部/畑の 3 分の 1 程度(約 2 畝) ジャガイモ種芋 3 kg、さつま芋 (10 本)、大根など
- ・個人部/畑の 3 分の 2 程度 栽培希望の野菜 (茄子、トマト、カボチャ、キュウリ、オクラ他)

◇◇畑作業のスケジュール 現地集合時刻は午前9時とし、午前中に作業終了◇◇

- ・ジャガイモ種まき 4月 9日(日) 終了
  - ・さつま芋植え・野菜種まき・草取り 5月 14日(日)
  - ・草取り、土寄せ、 6月 11日(日)
  - ・ジャガイモ収穫、草取り 7月 23日(日)
  - ・さつま芋掘り① 10月 1日(日)
  - ・さつま芋掘り②、大根掘り 10月 22日(日)
- \*個人管理部分はそれぞれの日程で管理・運営(草取りは適宜)  
\*\*活動状況はみどりの市民 HP 上のブログに掲載いたします\*\*



~2023 年 4 月 9 日~

ミキサーした大豆を冷まして、糶と塩をしっかりと混ぜ糶に詰めます。(2022 年 4 月)



## 味噌作り今年で 15 年 美味しい味噌 太鼓判！！

~2023 年は 4 月 1 日に大豆を炊いて仕込みました~

みどりの市民の味噌づくりは 2009 年から今年で 15 年。たくさんの方が味噌作りに関わり、手作り味噌のうまさを味わっています。最初は西山大豆を購入。みどり農園で大豆作りが始まり、自給自足になり今年で 8 年目。糶は戸隠の山口家のお米からのもの。今年、3 月 31 日に大豆洗い、4 月 1 日は総勢 8 人で大豆を炊いて仕込みと手際よく作業をやり、3 時にはすべて終了しました。12 月には美味しい味噌が食べられます。キット！！



## お知らせコーナー



NPO法人みどりの市民2023 年度通常総会

とき/5月13日(土)10時~12時

ところ/長野市ふれあい福祉センター和室

### 《申し込み方法》

下記みどりの市民の事務局へメール、Tel、fax で、お名前、連絡先をご連絡ください。

エコサロン (北澤知佐さんをしのぶ会)

日時: 6月2日(金) 10:00~12:00

場所: ふれあい福祉センター(和室)

内容: 手作り水餃子作り~オール地産地消~

参加費: 500円 持ち物: エプロン

定員: 10名

《追悼》会員のエコサロンスタッフ北澤知佐さんが病気のため2023年4月18日に亡くされました。ご冥福をお祈りいたします。

みどりの市民の会員数 (2023 年 4 月 1 日現在)  
正会員 39 人 賛助会員 14 人 団体賛助会員 1 団体  
〒380-8553 長野市若里 4-17-1

信州大学工学部 UFO ながの高木研究室内  
TEL&FAX 026-269-5092  
E-mail: midorit18@shinshu-u.ac.jp  
URL <http://midorinoc.sub.jp/>



### 《キャンパスの一隅にて》

ようやく新型コロナが 5 類になり、世の中が動き出しています。今年の春は早く、若里キャンパスはすでに新緑から青葉に移りつつあります。春のうららかなさとは裏腹に、戦争は続き、世の風潮は平和から遠ざかって行くような気がします。身の回りでも悲しいことが続いております。会員の北澤さんの突然の訃報、又会員のご主人の訃報など相継いでいます。生きていることの意味、価値を考えています。(h w)